



竹田市情報化に関する市民アンケート調査結果

大分県竹田市

※このアンケートは『竹田市DX推進計画』策定の基礎資料とするために実施したものです



調査の概要

(1) 調査目的

この調査では、今後のデジタル化施策の基礎資料とするため、市民の情報通信機器の利用状況や、本市のデジタル化推進についての意見などを調査し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

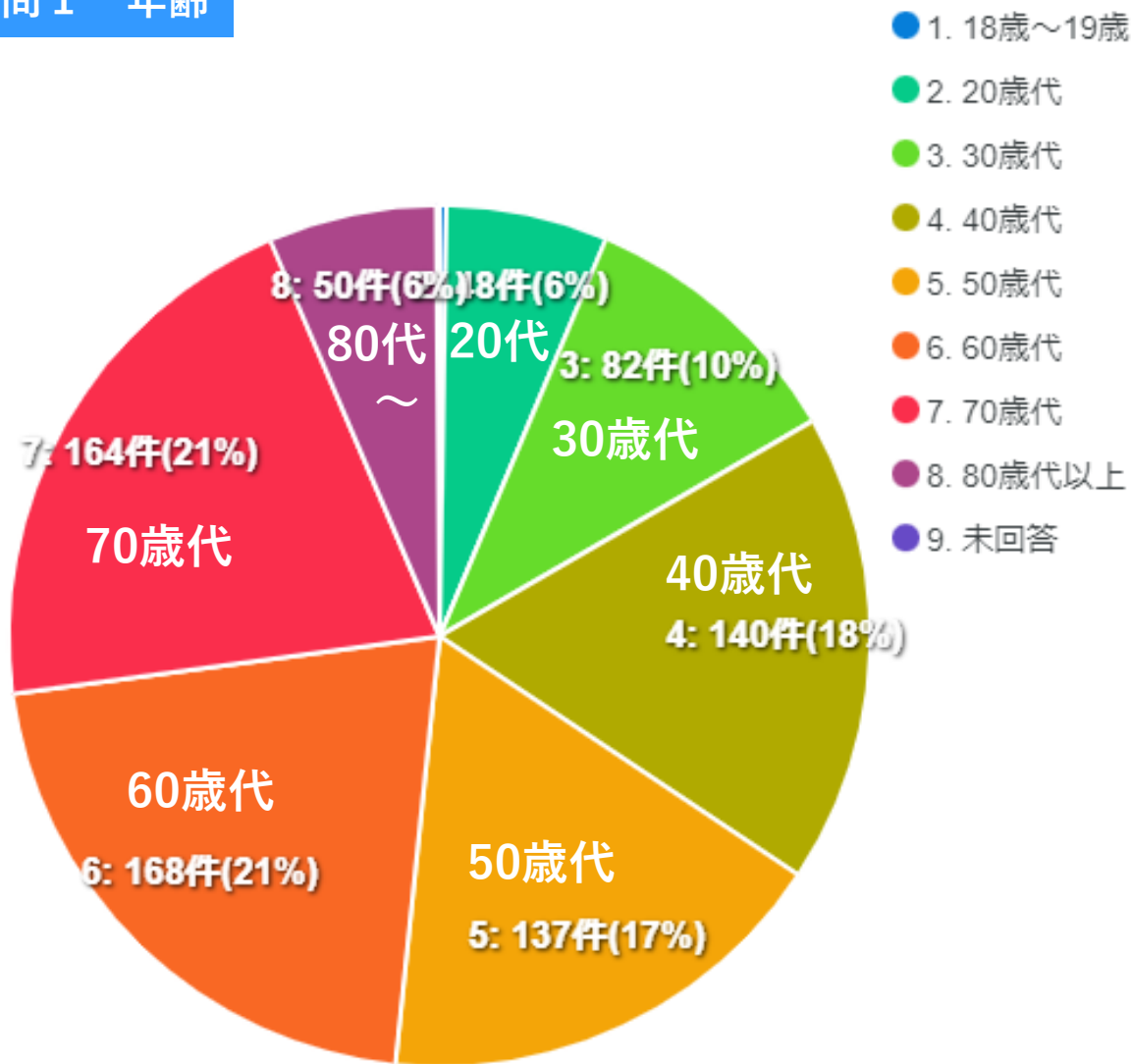
(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内に住所を有する満18歳以上の市民2,000人
調査方法	郵送による調査票の配布及び返信用封筒による回収又はインターネット回答
調査時期	令和5年10月10日～10月31日

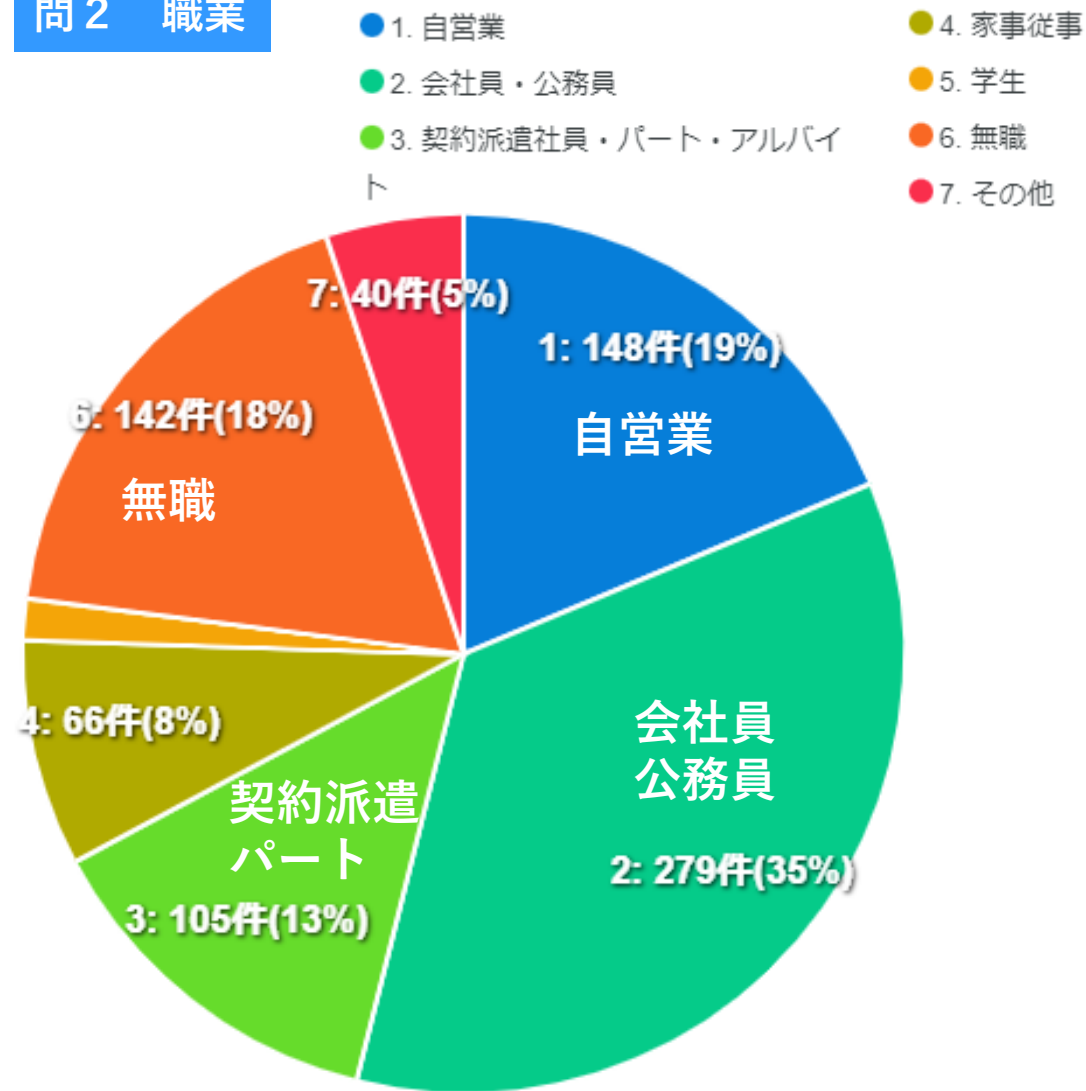
(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000 件
不明戻数	7 件
有効回収数	792 件
有効回収率	39.7 %

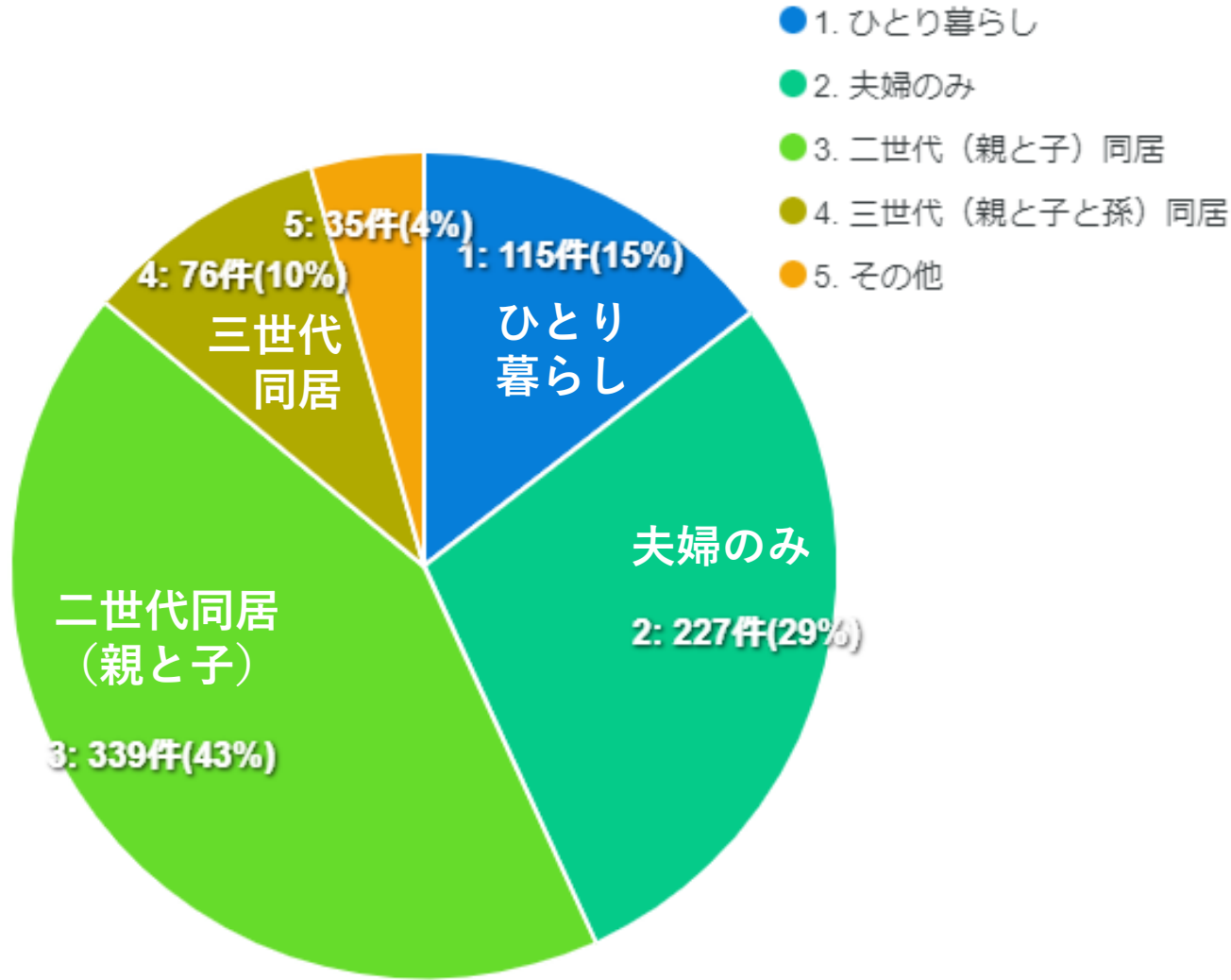
問1 年齢



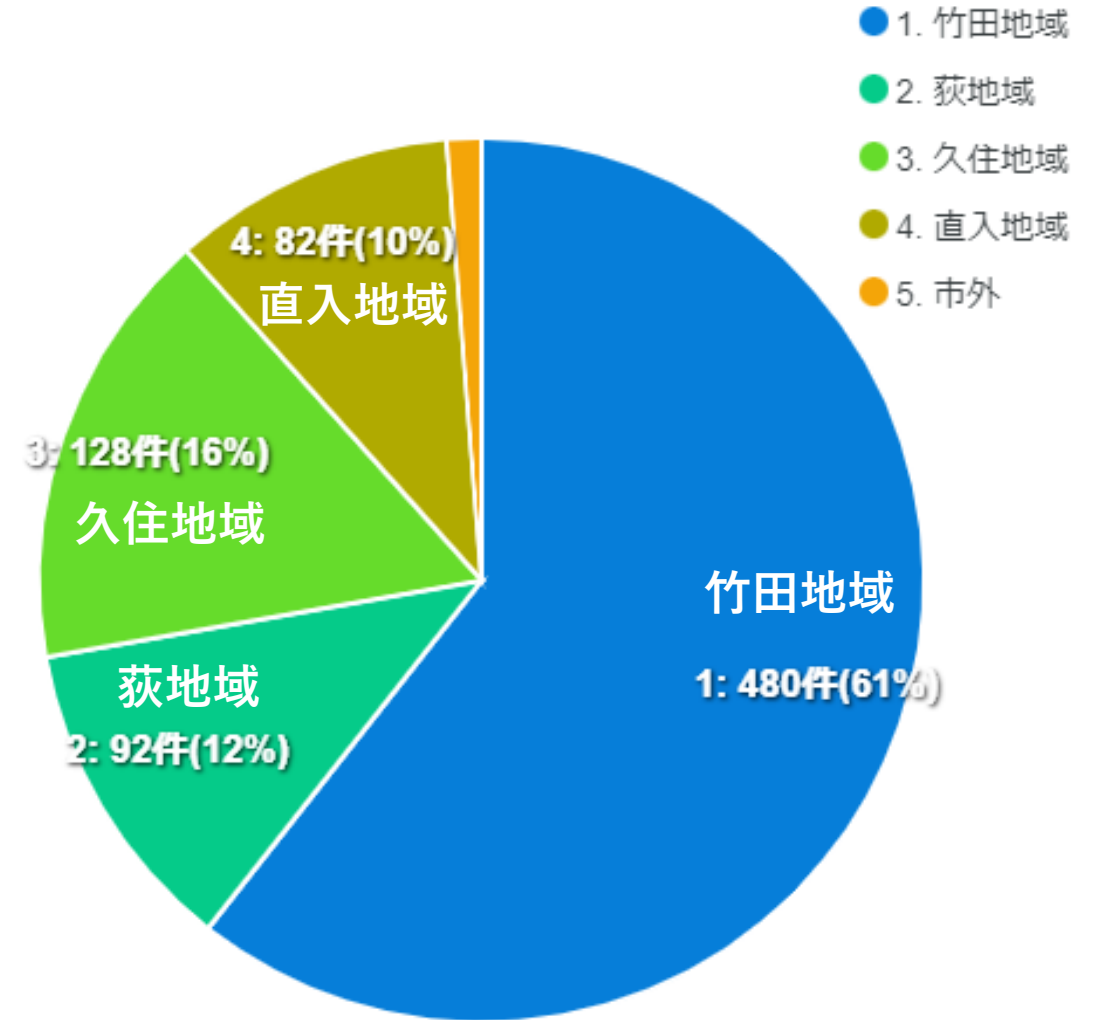
問2 職業



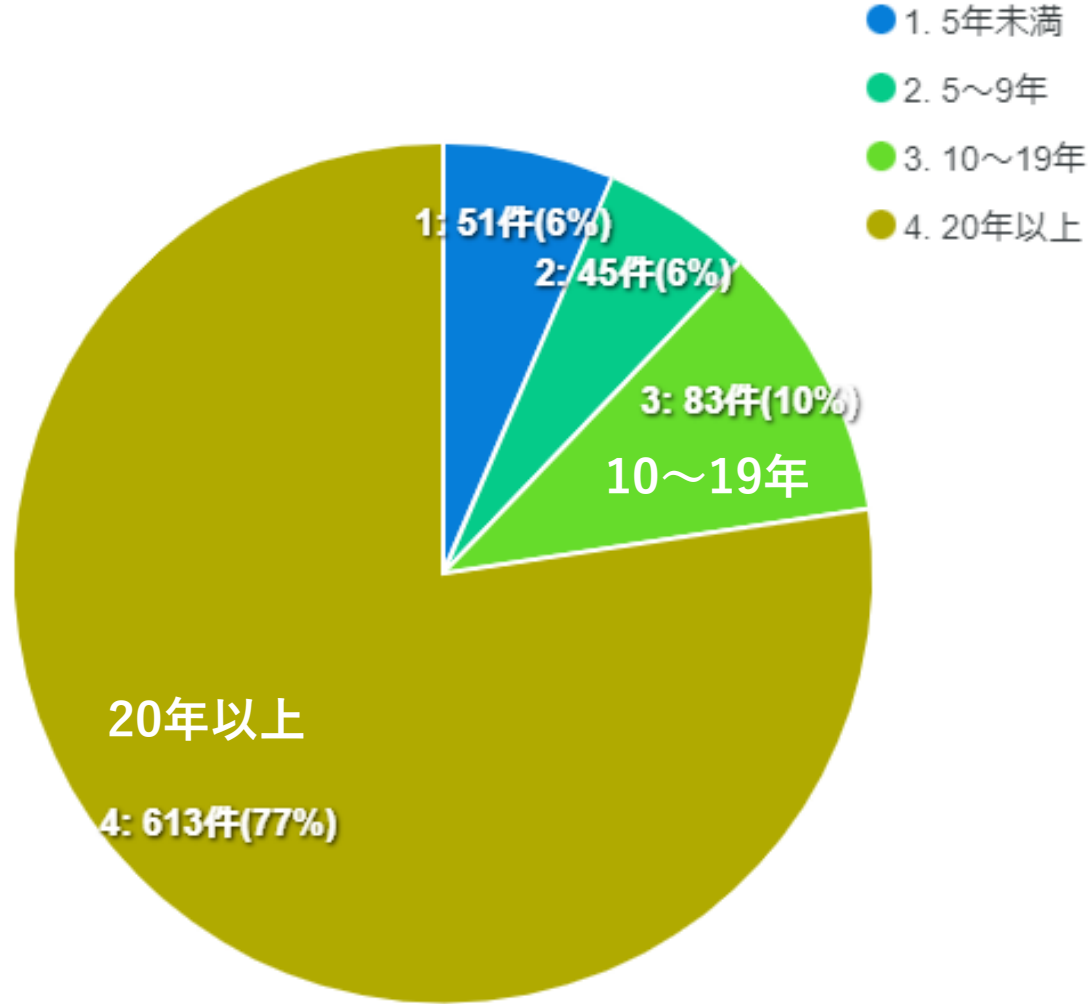
問3 世帯構成



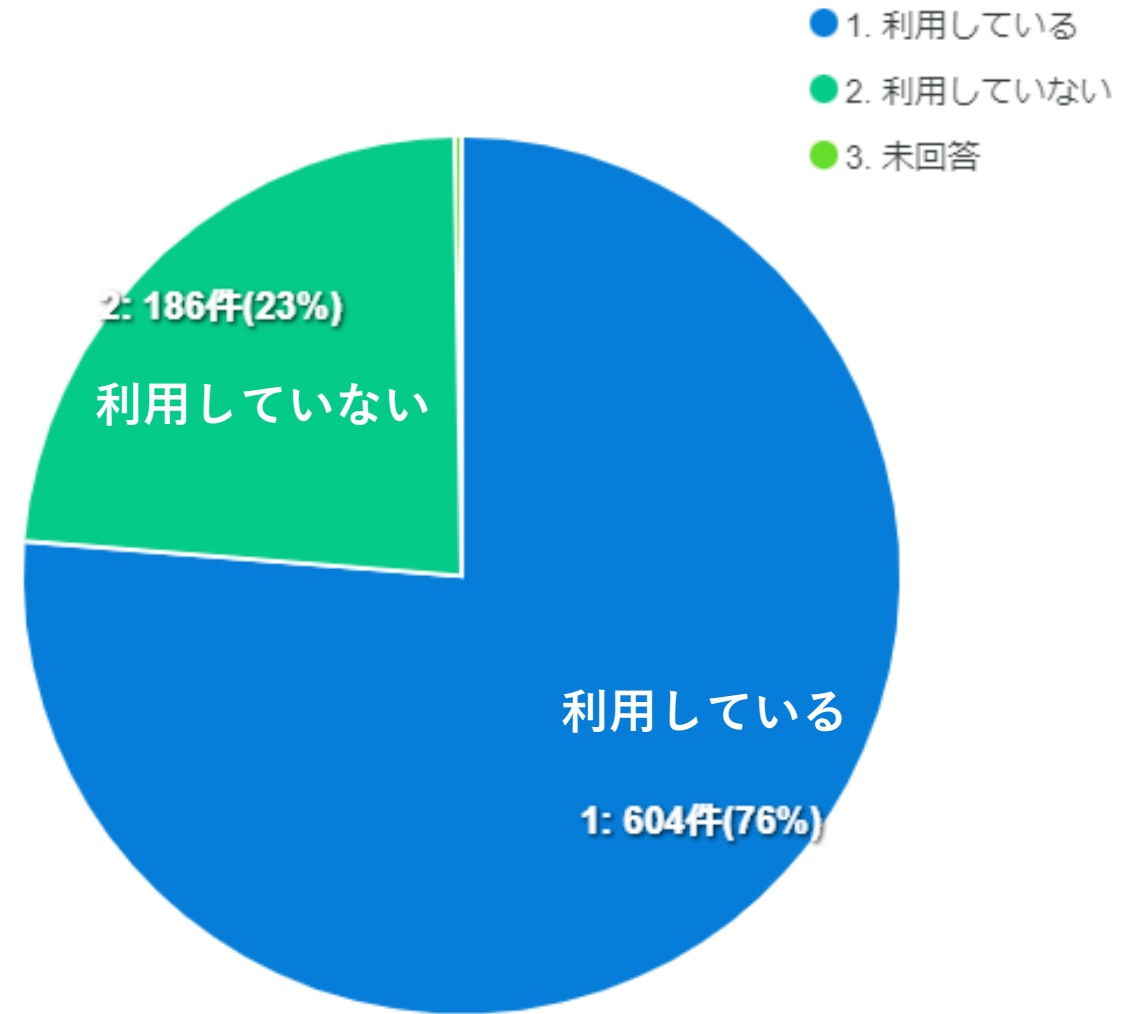
問4 お住まい



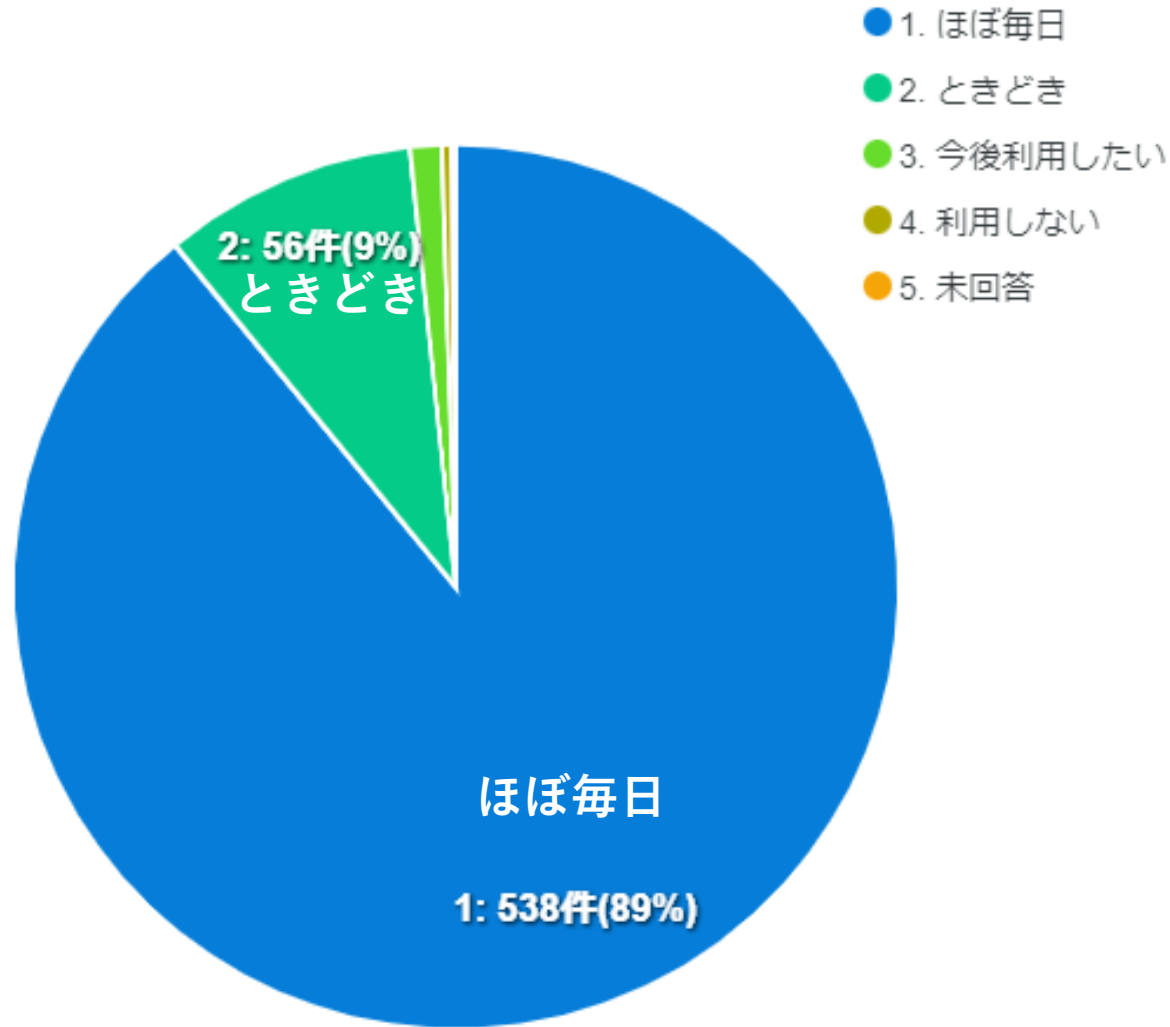
問5 居住年数（通算）



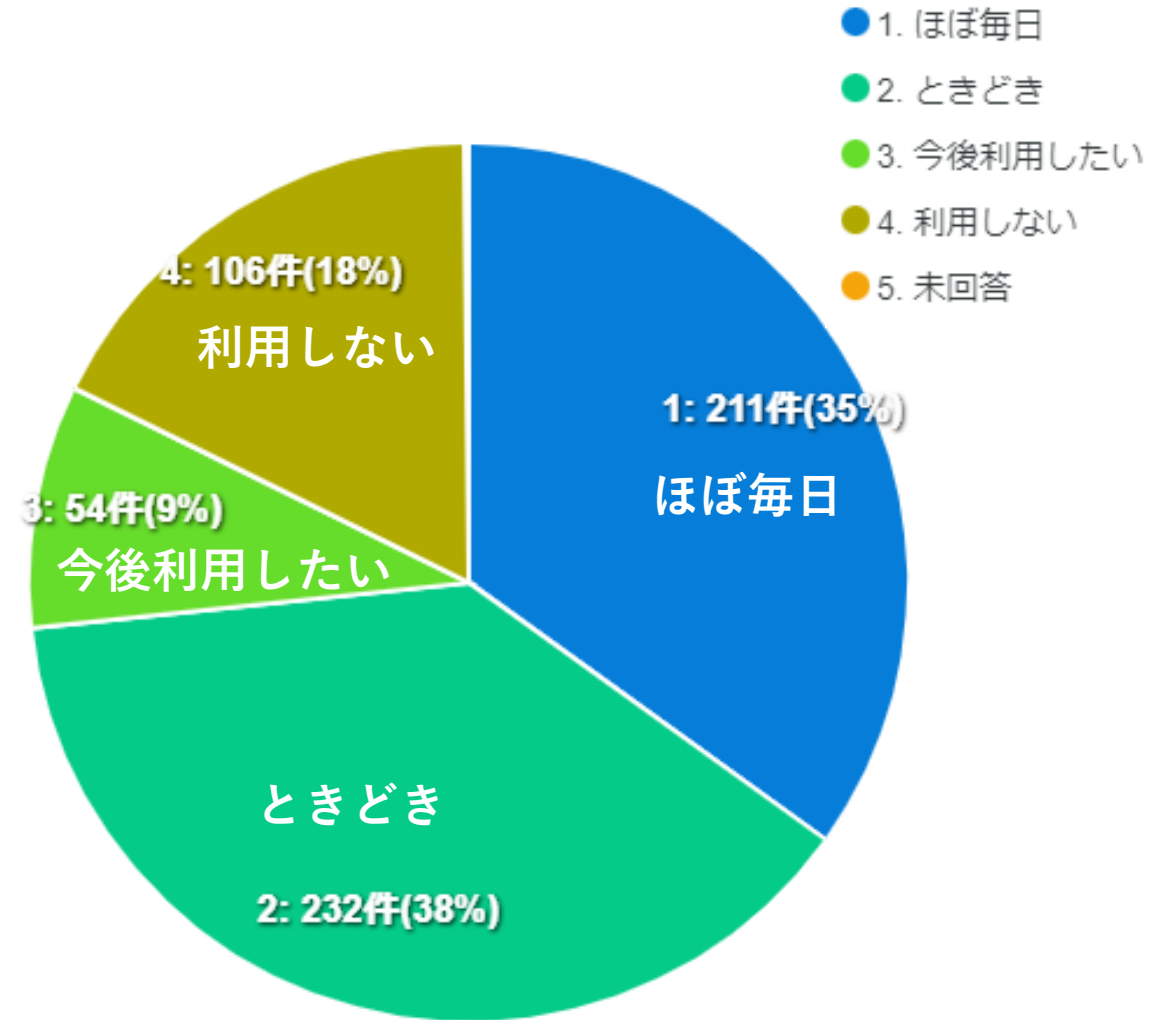
問6 インターネットの利用



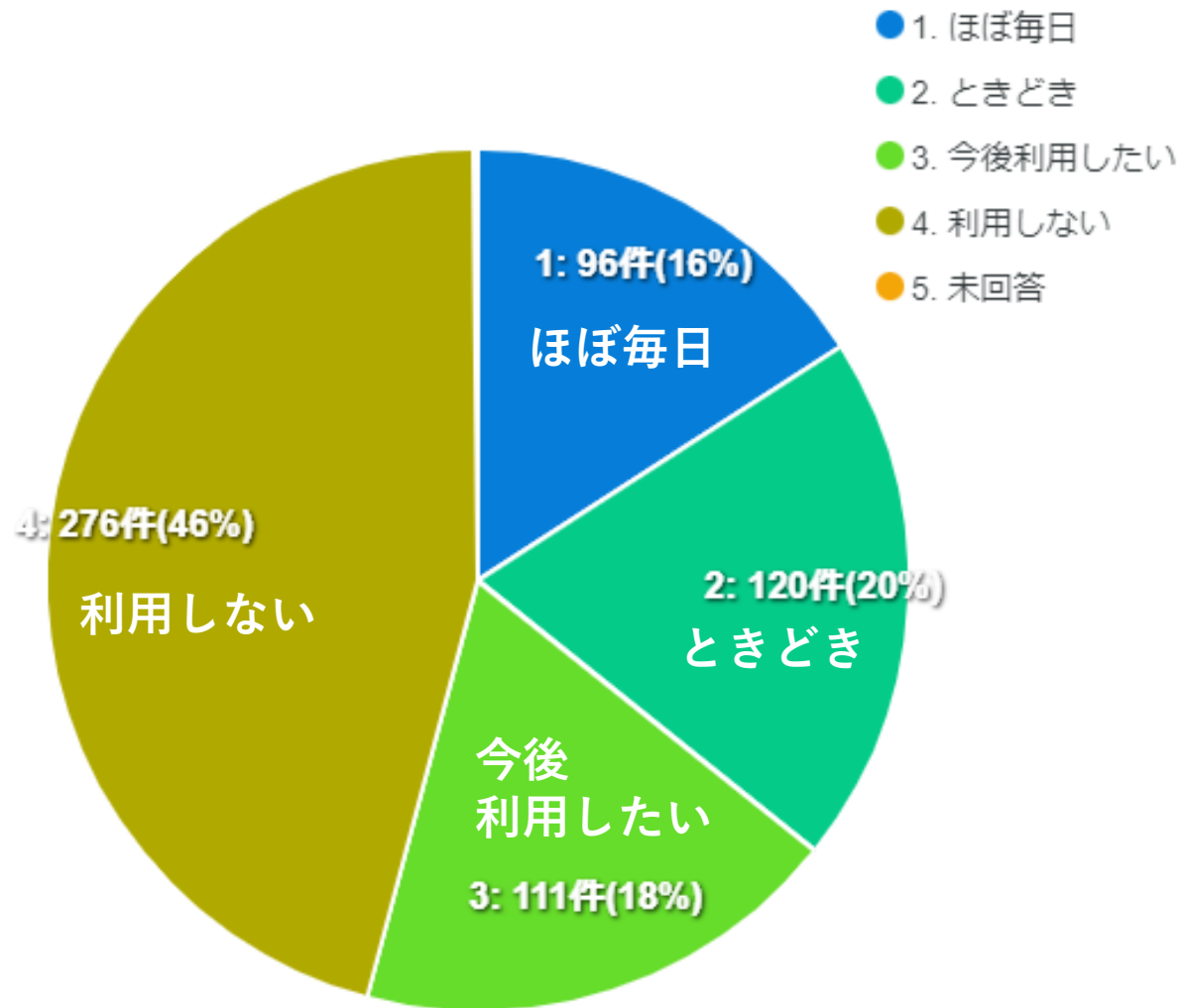
問7-1 スマートフォンの利用



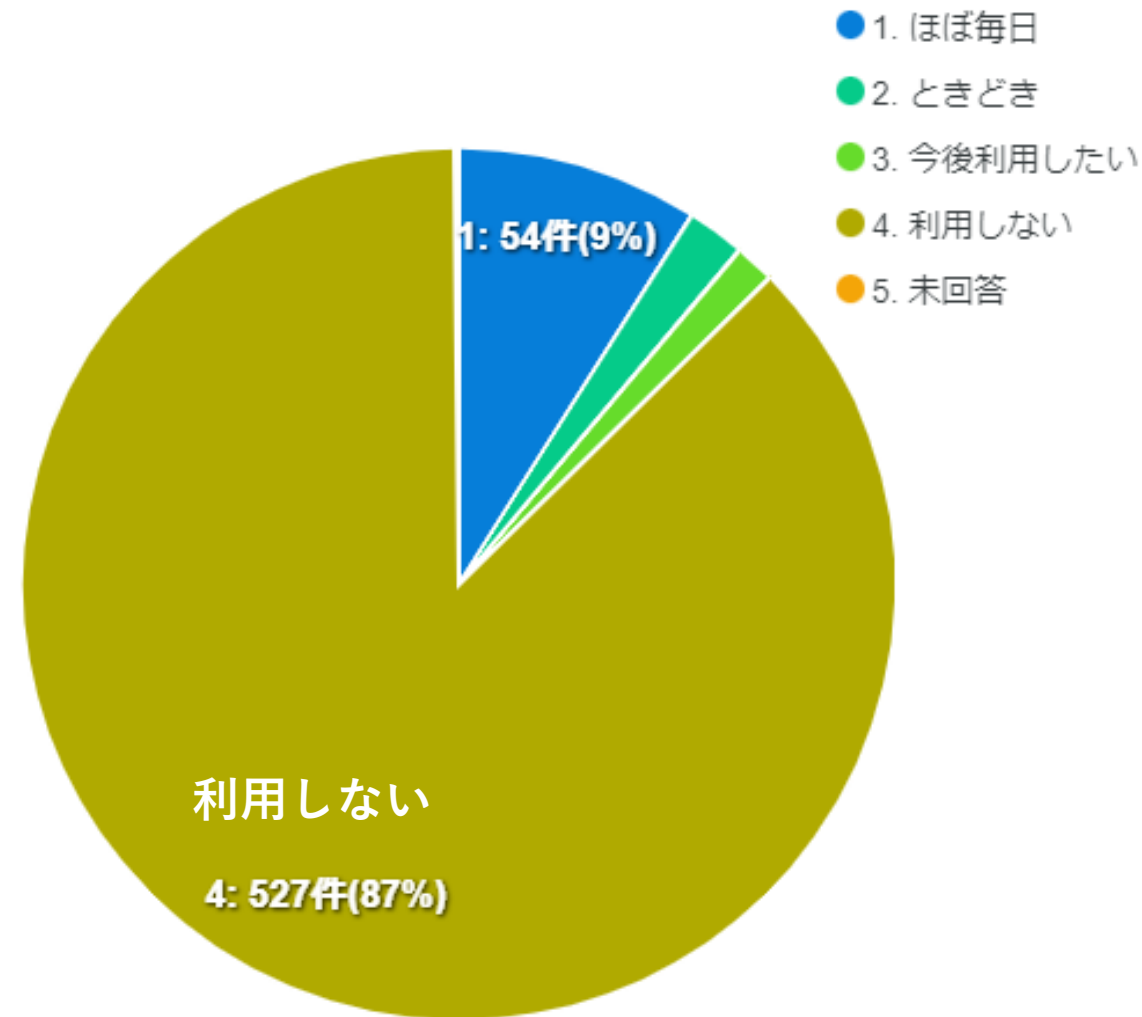
問7-2 パソコンの利用



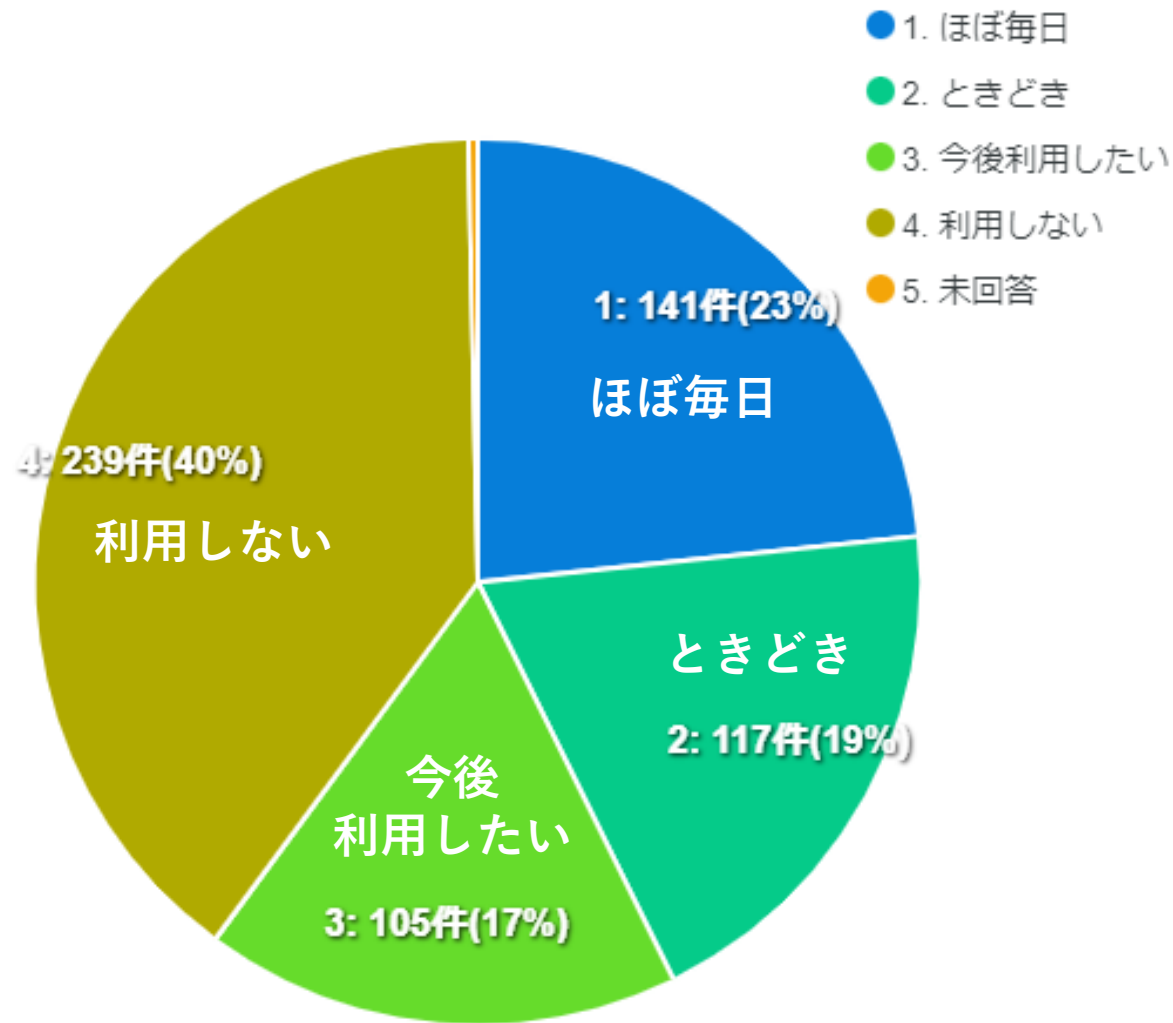
問7-3 タブレット端末の利用



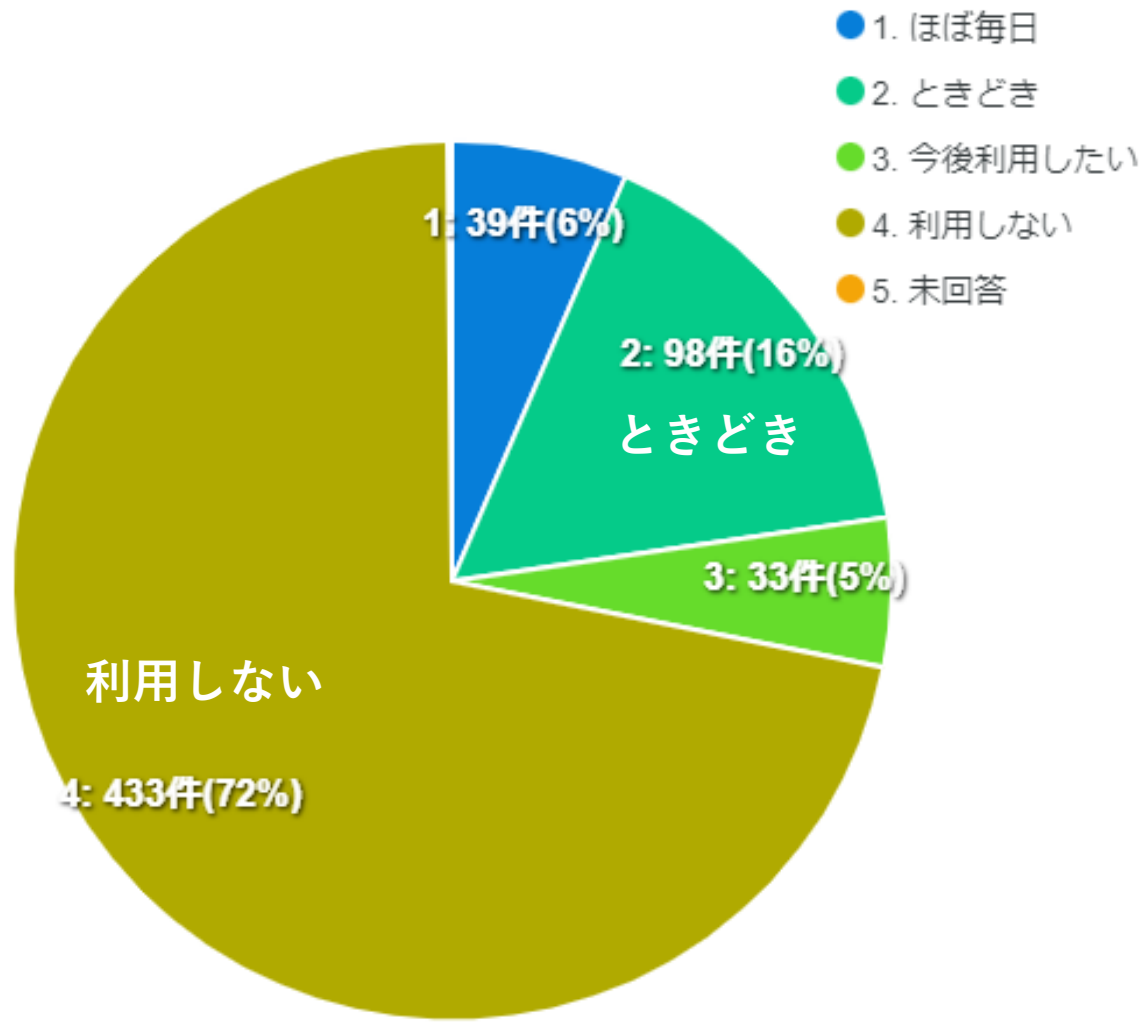
問7-4 携帯電話（スマホ以外）の利用



問7-5 インターネットに接続できるテレビの利用

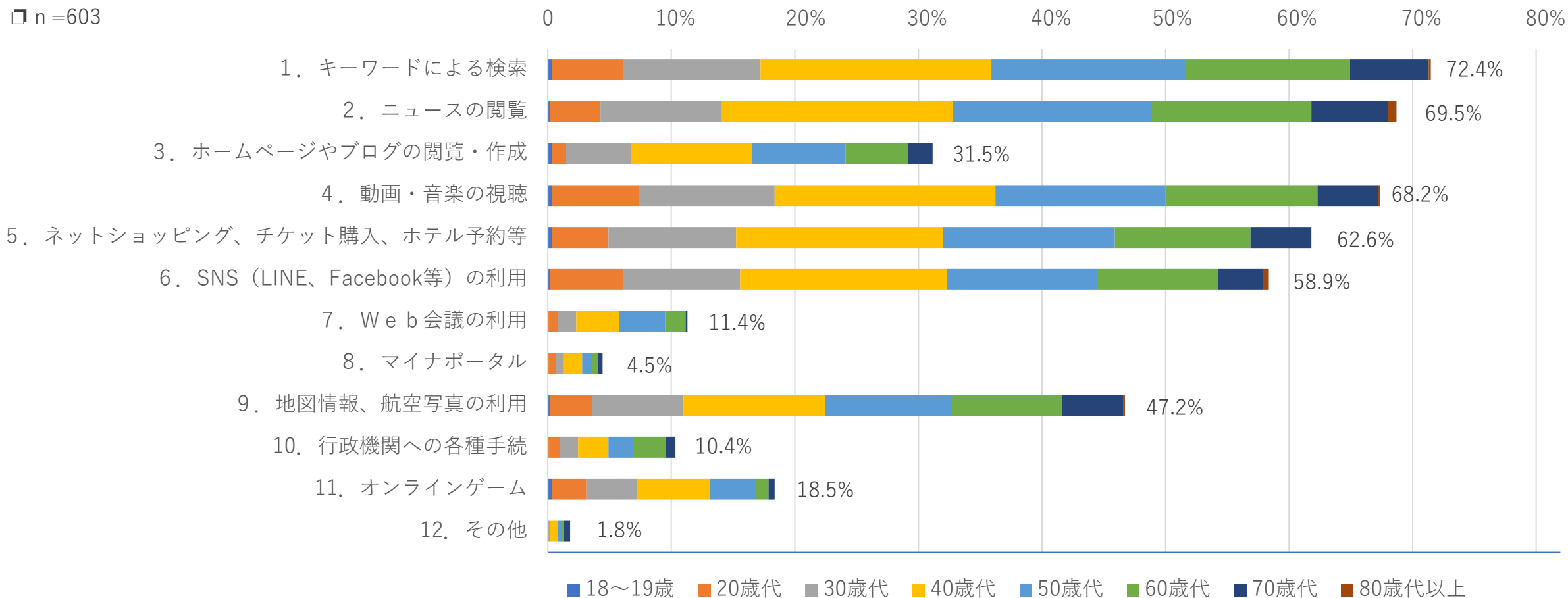


問7-6 家庭用ゲーム機の利用



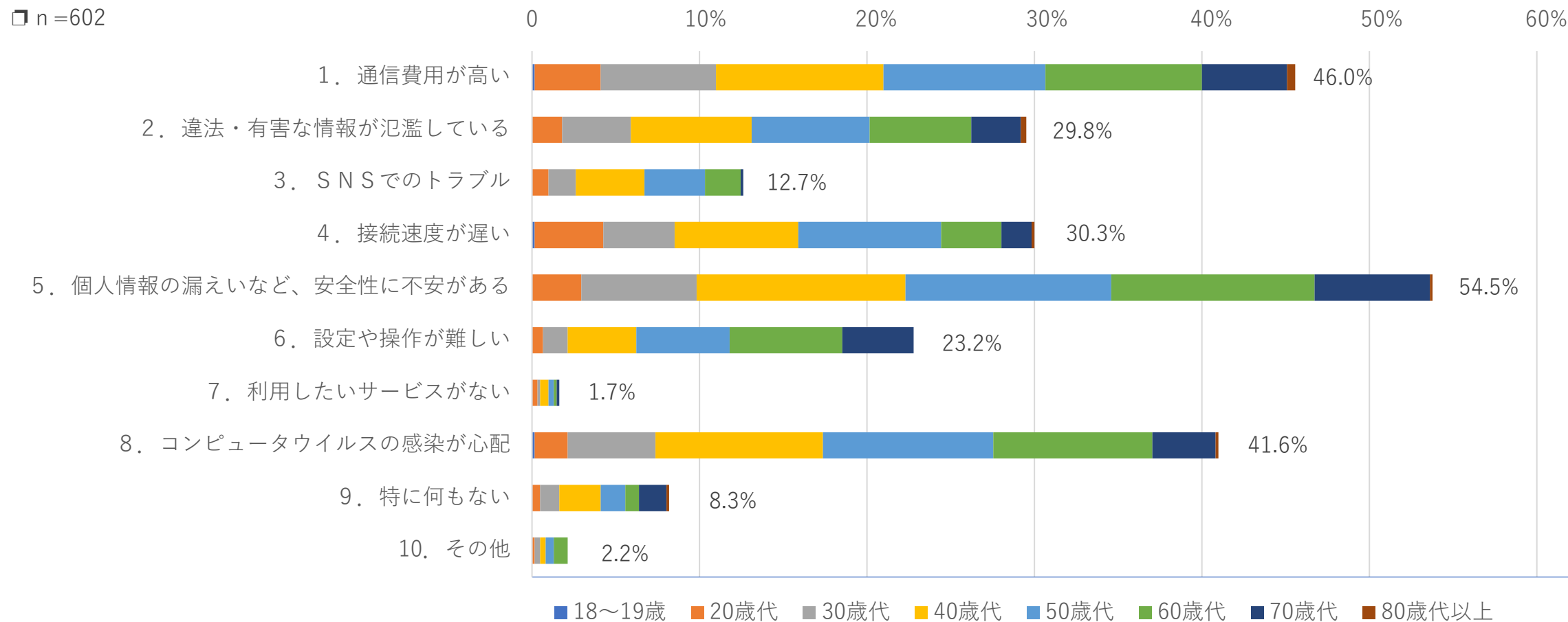
問8 インターネットでどのようなサービスを利用していますか（複数選択可） ※問6で「利用している」を選択された方

▶ ネットで利用しているサービスは、「1. キーワードによる検索」(72.4%)が最も多く、次いで「2. ニュースの閲覧」(69.5%)、「4. 動画・音楽の視聴」(68.2%)、「5. ネットショッピング、チケット購入、ホテル予約等」(62.6%)の順となっており、どれも6割を超え日常生活のツールとして浸透していることがうかがえます。



問9 インターネットを利用する際に感じる不満や不安（複数選択可） ※問6で「利用している」を選択された方

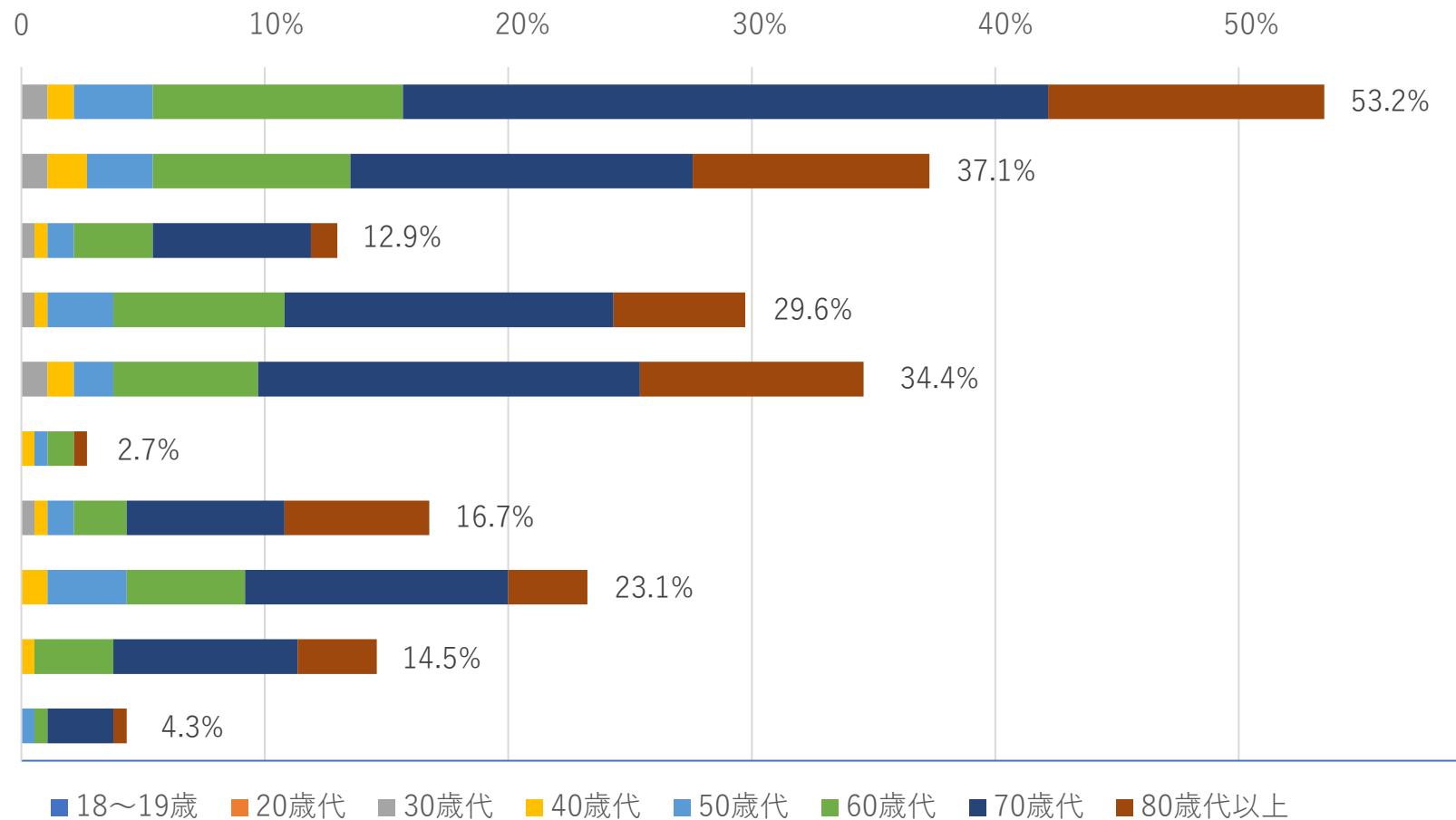
▶ ネットを利用する際の不満や不安では、「5. 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」(54.5%)が最も多く、次いで「1. 通信費用が高い」(46.0%)、「8. コンピュータウイルスの感染が心配」(41.6%)の順となっており、情報セキュリティに対する関心が高いことがうかがえます。



問10 インターネットを利用していない理由（複数選択可）※問6で「利用していない」を選択された方

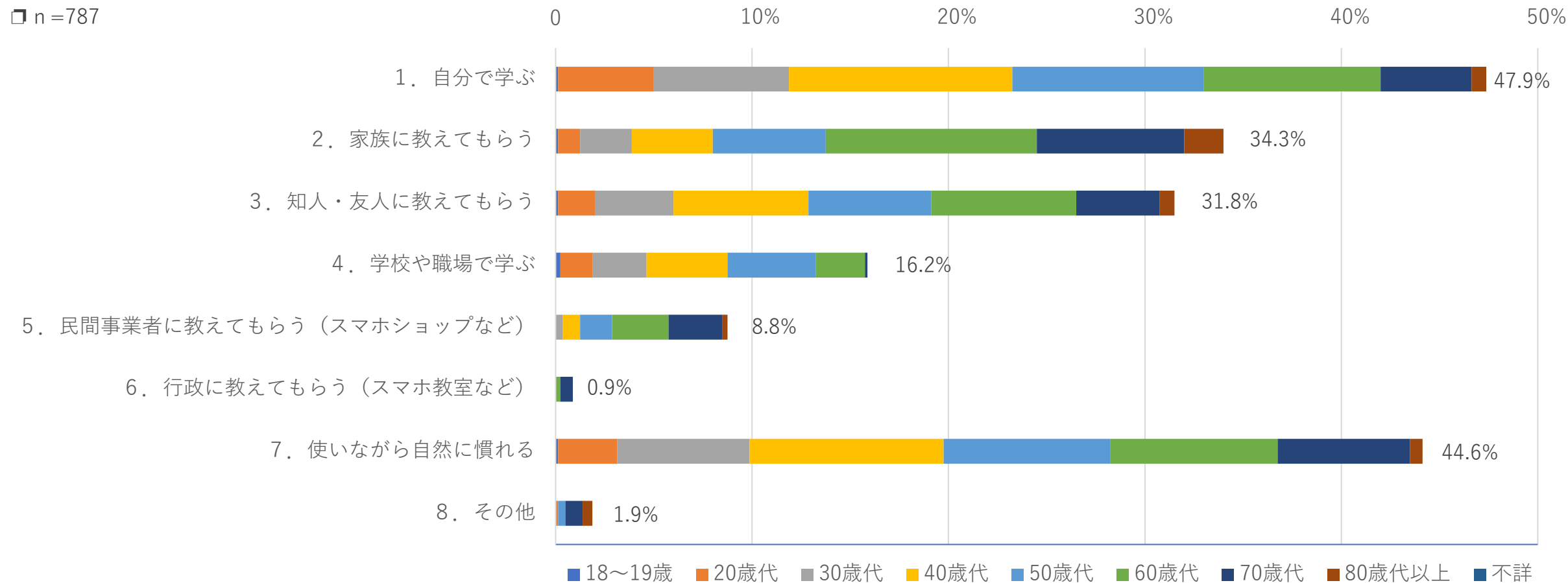
▶ ネットを利用していない理由では、「1. 興味がない、必要性がない」（53.2%）が最も多く、次いで「2. 操作 방법이難しい」（37.1%）、「5. インターネットがよく分からない」（34.4%）、「4. 個人情報の漏えいなど、安全性に不安がある」（29.6%）の順となっています。

□ n=186



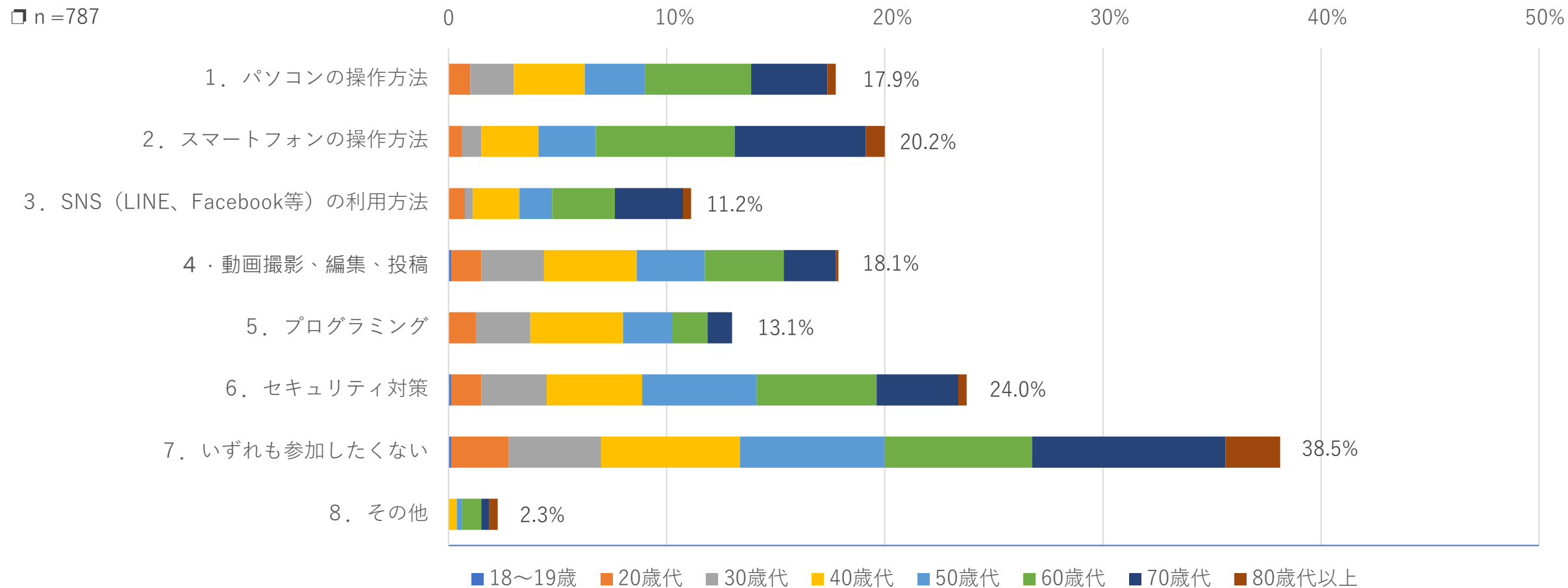
問11 ICTやデジタル技術に関する知識は、どのようにして習得されていますか（複数選択可）

➤ 技術の習得は、「1. 自分で学ぶ」(47.9%)が最も多く、次いで「7. 使いながら自然に慣れる」(44.6%)、「2. 家族に教えてもらう」(34.3%)、「3. 知人・友人に教えてもらう」(31.8%)の順となっており、60歳代では「2. 家族に教えてもらう」(34.3%)が一番多い結果となっています。



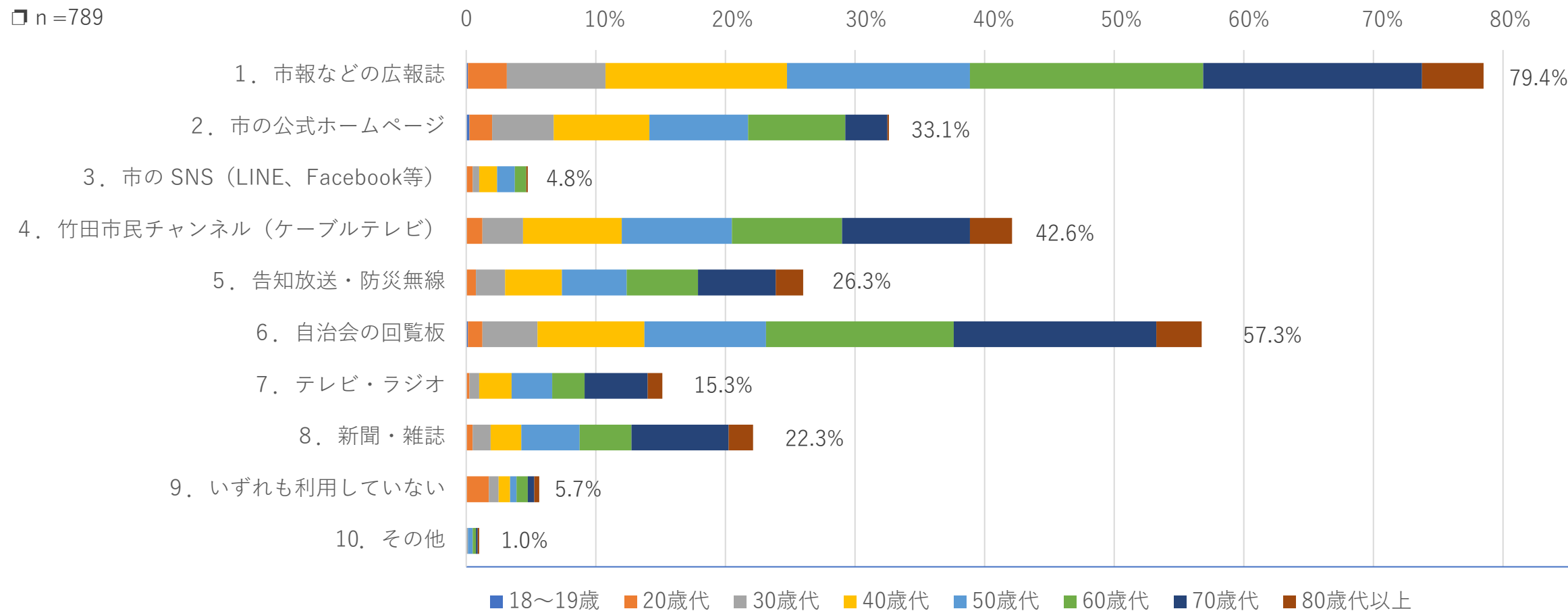
問12 今後、ICTやデジタル技術に関する知識を習得するために、どのような講習会に参加したいですか（複数選択可）

▶ 参加したい講習会は、「6. セキュリティ対策」（24.0%）が最も多く、次いで「2. スマートフォンの操作方法」（20.2%）、「4. 動画撮影、編集、投稿」（18.1%）、「1. パソコンの操作方法」（17.9%）の順となっていますが、実際には「7. いずれも参加したくない」（38.5%）が4割弱で一番多い結果となっています。



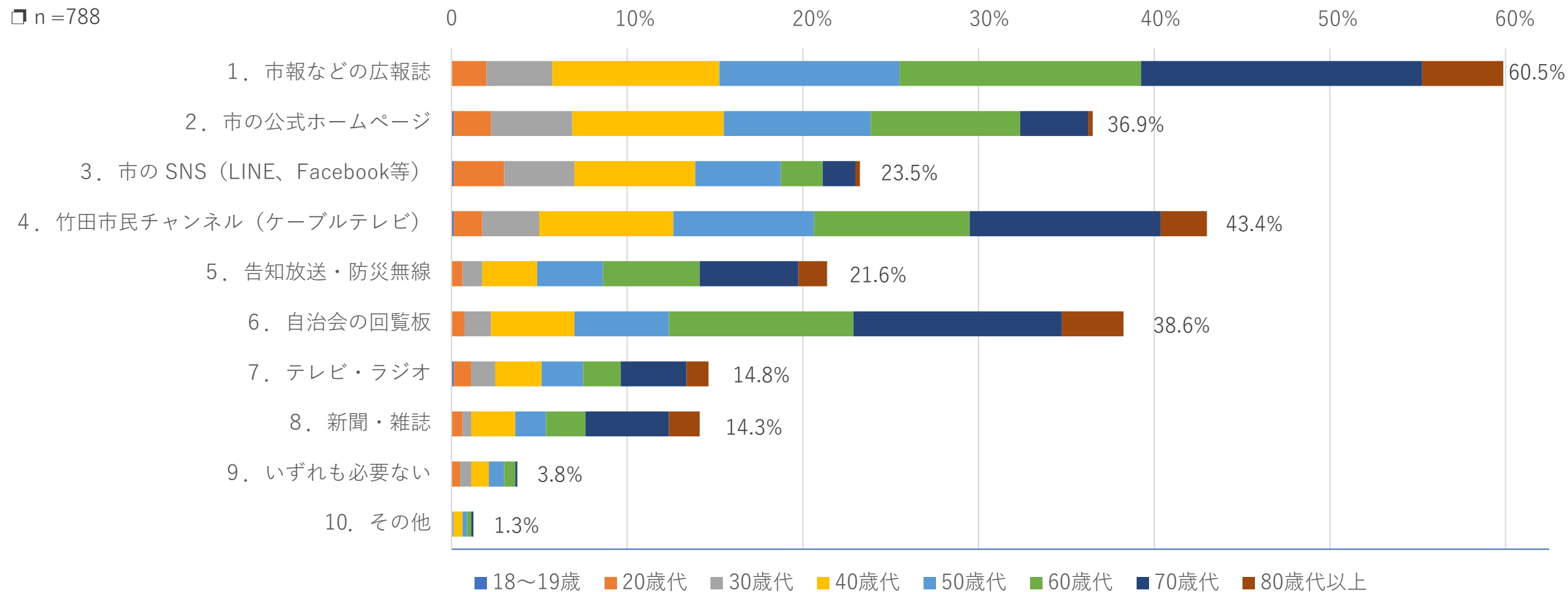
問 1 3 竹田市の市政や行政手続などに関する情報は、どの手段で入手していますか（複数選択可）

➤ 行政情報の入手手段では、「1. 市報などの広報誌」（79.4%）が圧倒的に多く、次いで「6. 自治会の回覧板」（57.3%）、「4. 竹田市民チャンネル（ケーブルテレビ）」（42.6%）、「2. 市の公式ホームページ」（33.1%）の順となっており、「3. 市の SNS（LINE、Facebook等）」（4.8%）については、わずか5%にも満たない結果となっています。



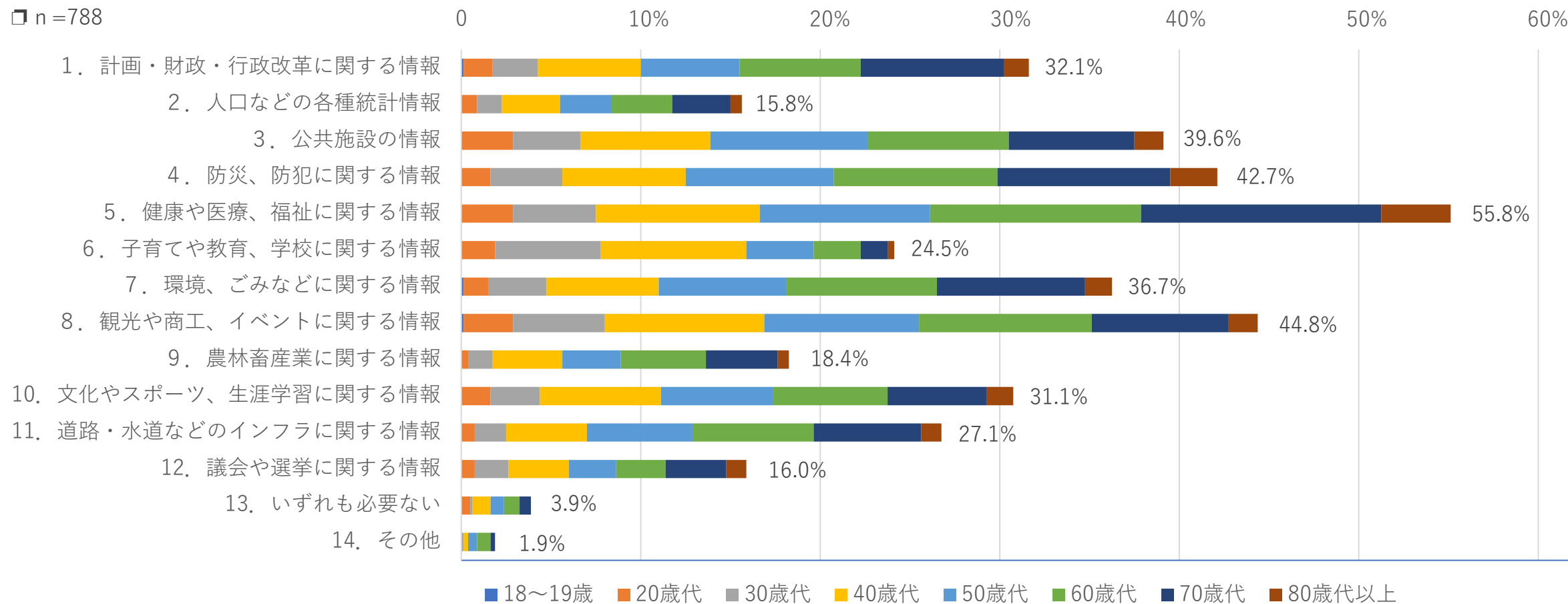
問14 竹田市が市政や行政情報を発信する際に、より活用してほしい方法はどれですか（複数選択可）

行政情報の発信では、「1. 市報などの広報誌」（60.5%）が圧倒的に多く、次いで「4. 竹田市民チャンネル（ケーブルテレビ）」（43.4%）、「6. 自治会の回覧板」（38.6%）、「2. 市の公式ホームページ」（36.9%）、「3. 市のSNS（LINE、Facebook等）」（23.5%）の順となっており、70歳代ではケーブルテレビの要望も多いことから普段から視聴されていることがうかがえます。



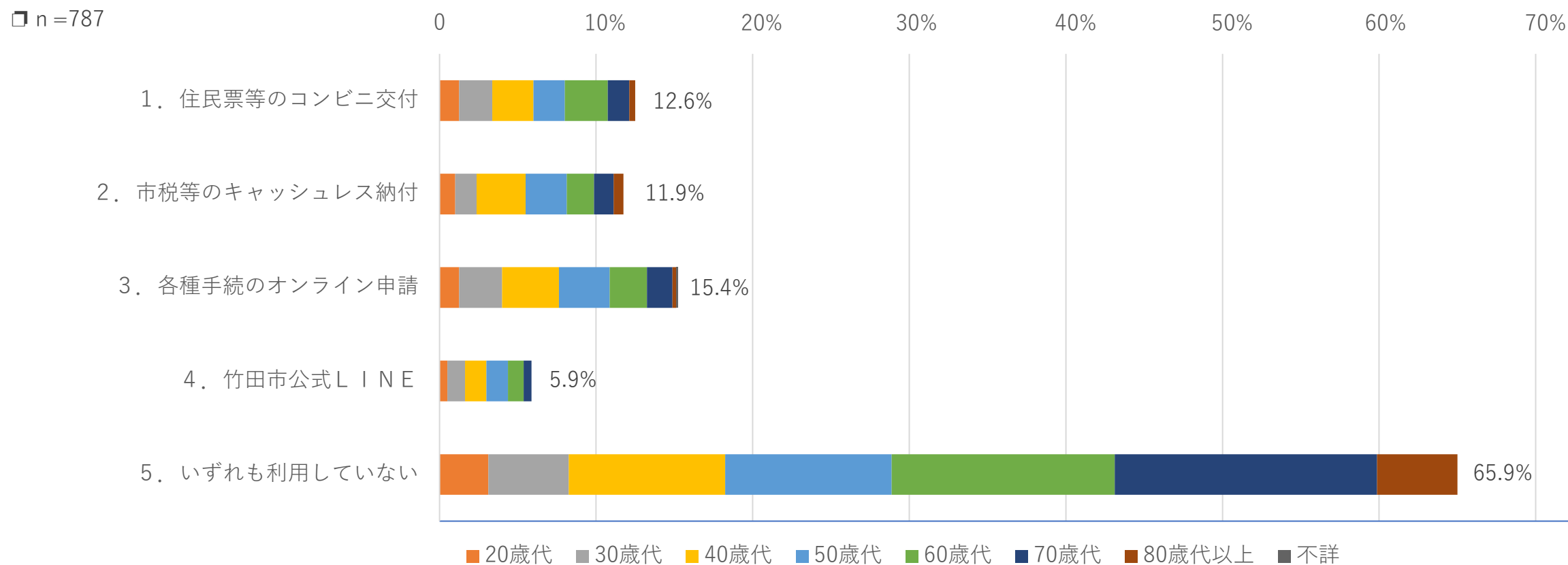
問15 入手したい、または、関心のある竹田市の行政情報はどのような情報ですか（複数選択可）

➤ 市民が入手したい、関心のある行政情報は、「5. 健康や医療、福祉」(55.9%)が最も多く、次いで「8. 観光や商工、イベント」(44.9%)、「4. 防災、防犯」(42.8%)、「3. 公共施設の情報」(39.7%)、「7. 環境、ごみ」(36.8%)の順となっており、生活に直結する情報や防災などに関する情報へのニーズが高いことがうかがえます。



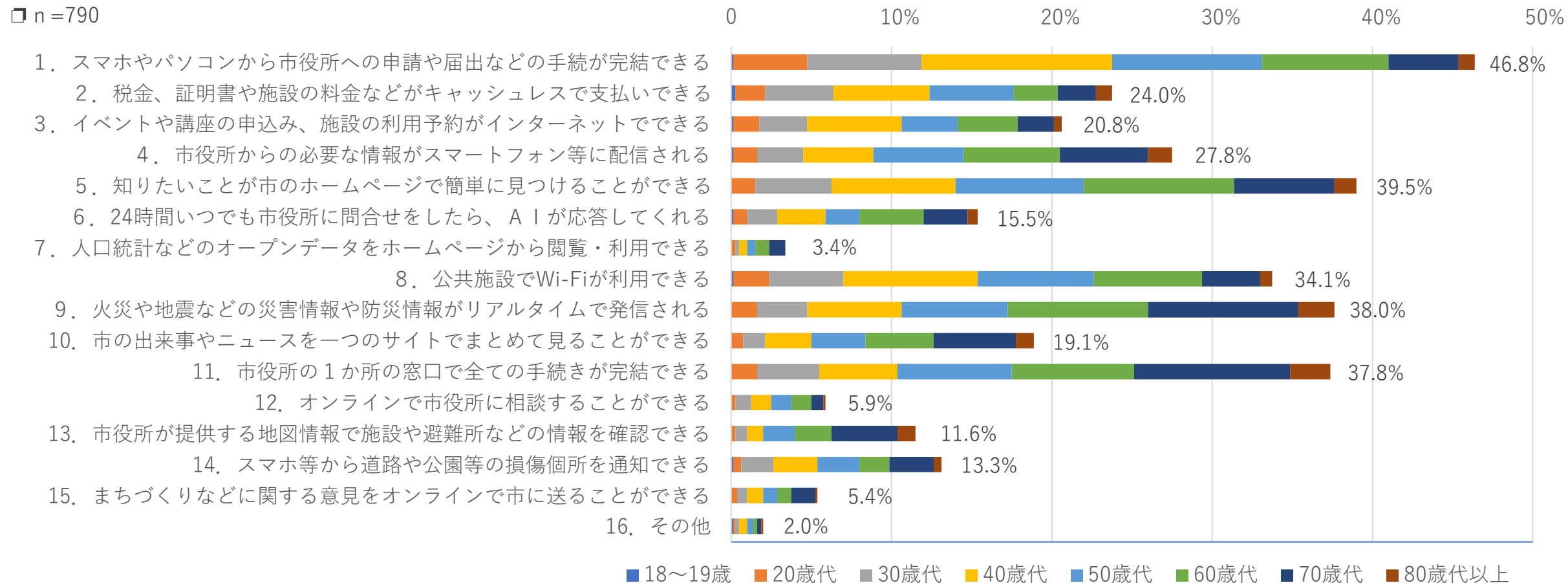
問16 竹田市が実施しているICTやデジタル技術を活用した次の施策で利用したことがあるもの（複数選択可）

- 「5. いずれも利用していない」（65.9%）が6割を超え、活用したことがあるものは、いずれも10%台以下に留まる状況でした。今後は、市民への情報周知に努め、利用できるサービスのさらなる拡充が求められます。



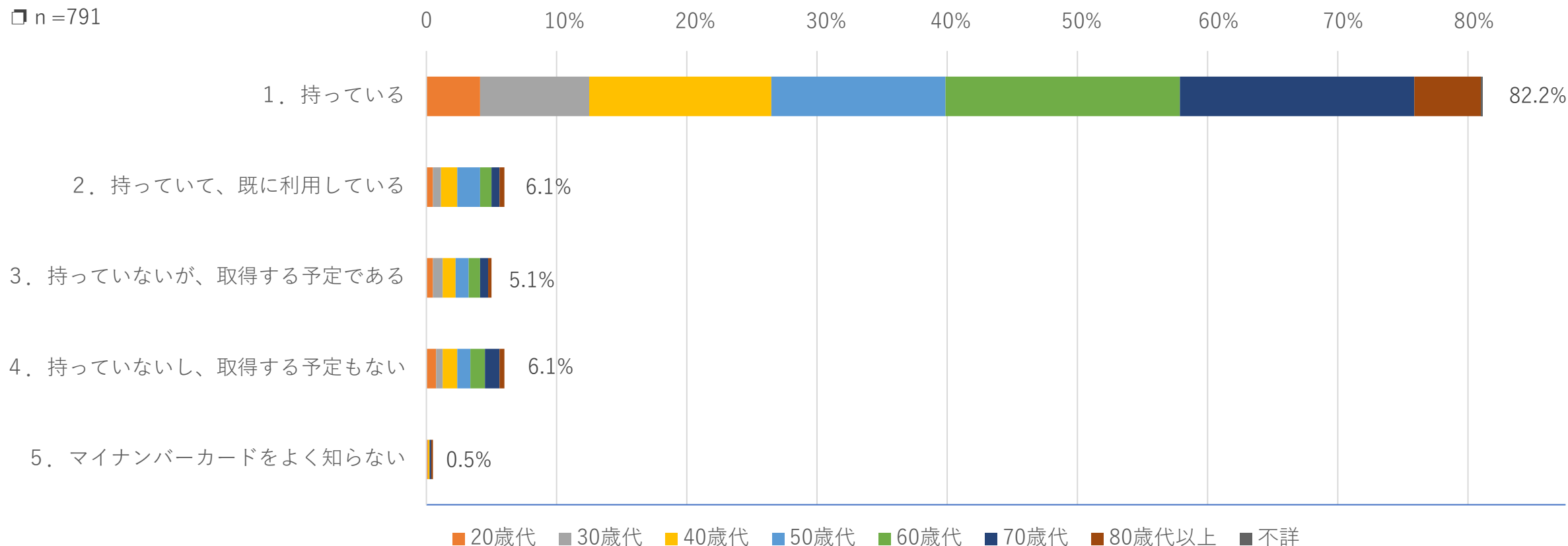
問17 竹田市の行政サービスとして実現してほしいサービスはどれですか（5つまで）

▶ 市民が望む行政サービスとして、「1. スマホ等からの申請手続」(47.0%)が最も多く、次いで「5. ホームページ内の見つけやすさ」(39.6%)、「9. 防災情報等のリアルタイム配信」(38.1%)、「11. ワンストップ窓口」(37.8%)、「8. 公共施設でのWi-Fi利用」(34.2%)、「4. スマホ等へ必要とする情報の配信」(27.8%)、「2. キャッシュレス対応」(24.1%)の順となっています。



問18 あなたはマイナンバーカードをお持ちですか

- 「1. 持っている」(82.2%)、および「2. 持っていて、既に利用している」(6.1%)を合わせると、約9割弱の市民が既にマイナンバーカードを保有していることがうかがえます。一方で「4. 持っていないし、取得する予定もない」(6.1%)方が一定数います。



問19 今後、マイナンバーカードを使ってどのようなことができるようになれば良いと期待しますか（複数選択可）

➤ 「3. 市役所の窓口で簡単に申請書などを作成できる」（58.6%）が最も多く約6割に上り、各年代からも満遍なく期待が高い。次いで、約3割の方が「1. インターネットから様々な行政サービスにアクセスできる」（31.4%）ことを望んでおり、市民は窓口の申請業務を中心にマイナンバーを活用した行政手続きの簡素化に期待していることがうかがえます。

